生徒の学びを高め，生活する力を育てる技術･家庭科の授業

明戸中学校（実践者・報告者）　持　田　　栄

1　題材名「情報トラブルを解消しよう！（３年）」（技術分野：内容Ｂ『情報とコンピュータ』）

2　題材の目標

疑似体験を通して，情報化の進展に伴う「情報モラル」について関心を持ち，その必要性について理解するとともに，「情報モラル」を守って主体的に危険を回避する能力や態度を育成する。

3　指導計画（２時間扱い）

①ソフトウェアの機能……１時間（本時）
②新聞の製作……１時間

4　情報機器活用の意図・情報教育の視点

情報教育の目標である「情報活用能力（情報活用の実践力，情報の科学的な理解，情報社会に参画する態度）」を生徒に育成するためには，課題や目的に応じて情報機器を適切に活用し，必要な情報を主体的に収集・判断し，目的に応じて処理，表現，創造することができるようにしなければならない。また，情報機器の基本的な仕組みやメディアの特性を理解し，目的に応じて情報機器やメディアを活用できるようにすることも重要である。情報社会の特質や情報化の進展がもたらす社会や人間に対する影響に関する知識を身につけ，「情報モラル」の必要性を理解するとともに，個人情報や著作権を保護する態度，情報の信頼性と責任について理解を深めさせる。

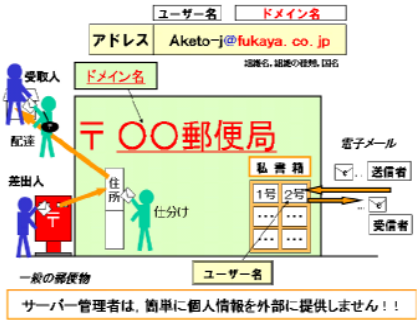
5　本時の学習

(1) 本時の目標

・情報トラブルを解消し，その防止策を考え出すことができる。
・地域に向けて情報を発信するため，学習内容をまとめ，わかりやすく表現することができる。
・情報モラルやマナーを守ることの必要性について理解を深めることができる。

(2) 展開

学習内容	生徒の活動	時間	教師の働きかけ **→はたらきかけの意図**	評価と指導の工夫 【】評価の観点 ◇ 評価方法 ○ 評価規準（おおむね満足） ▼ 努力を要する生徒の指導の手だて
学習への意識付け	**学びを高める手だて①**　身近な例をあげて，本時の課題への意識付けをする。			
◇情報トラブル，君ならどうする？	◇ウィルスへの対処法を考え，発表する。	5	◇職員室のコンピュータがウィルスに感染したらどうする？	**→情報機器活用上の問題は，身近なところでも起こり得ることに気づかせる。**
課題の把握	**学びを高める手だて②**　身近な事例を用いて，本時の課題への興味・関心・意欲を高める。			
◇情報化社会が抱える問題	◇地域の方の相談内容を聞き，その悩みの理由について考える。	5	◇地域のお年寄りからの相談内容が書かれた手紙を紹介する。 **→地域で起こった問題を自分の問題として受け止めさせたい。**	【生活と技術への関心・意欲・態度】〈観察〉 ○情報モラルについて興味を持ち進んで学習しようとしている。 ▼情報モラルを身に付けることが自分の生活を守ることにつながることを理解させる。
	学習課題 私たちの後輩を情報トラブルから救ってあげよう！			
課題の共有化				
◇トラブルの	◇資料をよく読み，	5	◇資料をスクリーンに映	**→視覚と聴覚に働きかけて意識を集中**

原因を探れ	質問事項を洗い出し，整理して発表する。 ・返信したのか ・住所は教えたか など		し出し，手紙を代表の生徒に音読させる。 ◇生徒が発表した内容を板書する。 ◇携帯電話を使って，質問事項を直接相談者に確認する演技をする。	**させる。** **→生徒が考えやすいように配慮する。** **→臨場感を与え，生徒の学習活動への意欲を高める。**
課題の解決 ◇トラブルを防止しよう	◇この事例の問題点とその原因について考え（話し合い）発表する。	5	◇小学生の取った行動で，まずかった点を指摘させる。 **→生徒に問題意識を持たせる。**	【生活の技能】〈観察〉 ○課題に対する解決策を考え出すことができる。 ▼どんな方法があるか友だちと相談させ、気付かせる。
	◇対処法や防止策について話し合う。 ・アドレスを換える ・新聞で呼びかける 等	5	◇課題解決を図るための対処法を考えさせる。 ◇当事者以外にも被害者がいたことを伝える。 **→「地域のために」という気持ちを生徒に喚起させたい。**	
情報の発信 ◇情報発信に向けた準備をしよう	**学びを高める手だて③**　調べたことをそのまま映すのではなく，平易な言葉に直させる。			
	◇情報モラルへの意識を高める新聞づくりに向けた準備をグループごとに行う。	20	◇対象が小学生ということを意識させ，必ず自分のことばに直して整理させる。 **→著作権について意識させる。**	【活用する能力】〈観察、生徒作品〉 ○学習した内容をわかりやすく表現しようと工夫している。 ▼誰（小学生やお年寄りなど）にでもわかるように伝えるにはどうすればよいか考えさせる。
	学びを高める手だて④　電子模造紙を利用して，家庭や地域に向け掲示物を作成する。			
	◇班毎に，電子模造紙を用いてグループ新聞づくりを開始する。		◇班で話し合って分担を決め，新聞を作成させる。	【生活の技術について知識理解】〈学習シート〉 ○情報モラルやマナーを守ることの大切さを理解している。 ▼情報モラルを身に付けることが自分の生活のために必要であることを理解させる。
本時のまとめ ◇情報機器のある生活	◇本時の学習内容を振り返り，学習シートを使って今日のまとめをする。	5	◇本時の学習内容や学習のポイントを教師のことばで確認させる。 **→個々の生徒に自己を見つめさせる。**	▼もしみんなが自分勝手に何でもやり始めたらどうなるかを考えさせる。
◇次時の確認	◇次時の学習内容を確認する。		◇次時の活動に向けて意欲付けを図る。	**→次時の学習へ向け，意欲を喚起する時間にする。**

6　成果と課題

多くの生徒は，「メールアドレスが相手に知られてしまうと，住所は特定されてしまう。」という間違った認識のままネット社会を生きている。ネット社会を快適に生活するためには，インターネットや電子メールなどのしくみについて理解を深め，正しい認識を持った上で，「情報モラル」を身に付けていくことが重要である。今回，身近な題材を取り上げたこと，学習への動機づけに工夫を図ったことで，生徒は以前よりも意欲的に学習活動に取り組んでいた。また，電子模造紙を利用することで，グループ毎に協同作品（「情報通信」）を仕上げることができた。今後は，一層「動機づけ」に工夫を凝らした指導を充実させ，生徒の情報活用能力を高めていきたい。